武市農　７１１　号

平成 26 年 3 月 25 日

支出負担行為担当官

総務省大臣官房会計課企画官　殿

佐賀県武雄市武雄町大字昭和 1 番地 1

武雄市

市長　樋 渡 啓 祐

成果報告書

平成 25 年 8 月 30 日付け平成 25 年度〔契約番号０１５５－０２２２〕「平成 24 年度補正予算 ICT 街づくり推進事業」における成果について、契約書第２８条第１項の規定に基づき、以下のとおり報告いたします。

１．実証成果の公表に係る情報（メディアでの紹介事例、外部投稿発表、その他周知広報実績等）

オープンデータシティ武雄の見える化とエコシステムによる農業活性化（佐賀県武雄市）

２．目録

１　実証成果の公表に係る情報（メディアでの紹介事例、外部投稿発表、その他周知広報実績等）

（１）事業に係る発掘、仲介、調整

（２）シンポジウム「ICT 活用で武雄の農業が変わる！」

①内容

②広報

（３）事業に係る記事紹介

２　発明等（契約書第２７条第１項第５号に定める発明等のリスト）

（該当なし）

３　その他の技術情報（構築したシステムの仕様書等を添付すること）

（該当なし）

以上

1. 実証成果の公表に係る情報

（空白ページ）

（ア） 事業に係る発掘、仲介、調整

説明会等開催報告

開催日	会議等名	主な内容
平成 25 年 6 月 20、25 日 7 月 1、4、5 日	各種会合への参加・農家個別訪問	（発掘）ICT街づくり推進事業概要説明
平成 25 年 8 月 5～8 日	参加希望農家施設訪問	（発掘・仲介・調整）農家所有施設・装備確認
平成 25 年 8 月 20 日	全体説明会	（発掘・仲介・調整）各部門事業内容説明、情報提供依頼、個人情報取扱について
平成 25 年 8 月 27、28 日 9 月 12 日	参加希望農家個別ヒアリング	（発掘・仲介・調整）各部門事業内容説明、情報提供依頼、参加承認に関する書類提供、最終意思決定依頼
平成 25 年 11 月 25 日	全体説明会	（調整）医療部門・営農部門機器操作説明、要望聞取り
平成 25 年 12 月 4 日	参加農家個別説明	（調整）医療部門・営農部門機器操作説明、要望聞取り
平成 26 年 3 月 6 日	全体説明会	（調整）各部門の進捗報告、今後の推進体制

（イ） シンポジウム「ICTで武雄の農業が変わる！」

（1）内容

1．日時　平成 25 年 11 月 2 日（土）

2．会場　武雄市文化会館 ミーティングホール

3．主催　オープンデータシティ武雄の見える化とエコシステムによる農業活性化プロジェクトコンソーシアム
（武雄市、ネポン㈱、NTT データカスタマーサービス㈱、
㈱SIIIS、慶応義塾大学大学院）

4．目的
現在、武雄市では、強い農業の確立を目指し、ICT 利活用を通じた「農業の振興」と「農業従事者の負担軽減、健康作り」、そして「SNS を利用した生産物の高付加価値化・新たな販路拡大」を一体とした『武雄市 ICT 街づくり推進事業』を進めている。
そこで、今回のシンポジウムでは、本事業の目的や意義等について紹介するとともに、ICT を活用した農業の実践例や生産から販売まで ICT を活用することの効果等について共有を図ることで、ICT が拓く農業の未来について参加者全員で考える。

5．対象　農家、消費者

6．参加者　約150人

7．内容

（1）シンポジウム
①特別講演・・・『世界が夢中になる農産品のブランディング』
ヒミ＊オカジマ氏

②パネルディスカッション
「ICT 活用で武雄の農業が変わる！」
パネラー：江口達郎氏（市内農家）、
小野原和弘氏（ネポン株式会社）
杉山隆志氏（株式会社 SIIIS）
ヒミ＊オカジマ氏、

大澤信一氏（アグリビジネスコンサルタント）
原正之（武雄市　農林課　農政係長）
コーディネーター：慶応義塾大学大学院　菊池尚人氏

内容：・自己紹介
・現状（課題）
・ICT を活用した課題解決方法　農作業面・販売面それぞれ
・今後の農業の展望・希望

③ワークショップ
「武雄の農業について」
ファシリテーター：慶応義塾大学大学院　菊池尚人氏
(1) 5 人×2 組の 10 人を募集
(2) 質問「武雄の農業に関する要望は？」
(3) 質問「前の質問を実現するには？」
(4) 質問「その実現に ICT はどう生かすか？」
(5) 挙手による会場評価とその集計、チーム側のコメント、終了の挨拶

(2)ロビーでの事業紹介・・・
営農部門(ネポン)、医療部門(NTT データ)、販売・情報発信部門(SIIIS)

(3)広報
・物産まつり(11/2～11/4 開催)チラシへの掲出
・関係機関(JA、普及センター),市内認定農業者(約 160 名)への
チラシの配布
・市HPでの周知

・物産まつり(11/2～11/4開催)チラシ

・市ホームページでの広報（H25.10.29）

武雄市役所

【ＩＣＴ活用で武雄の農業が変わる！】

物産祭りの初日（11/2）、武雄市文化会館ミーティングホールにて、「ＩＣＴ活用で武雄の農業が変わる！」シンポジウムが開催されます。

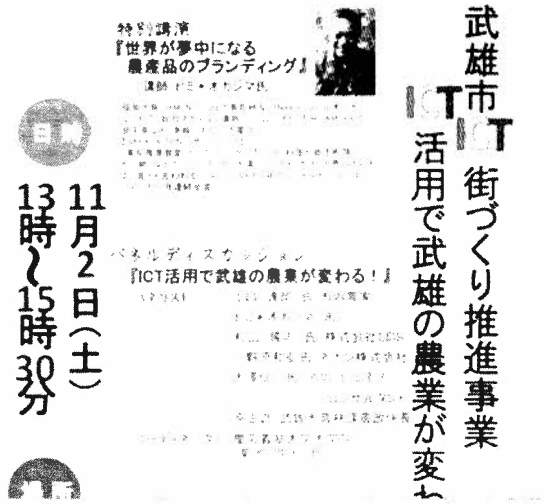
特別講演のテーマは「世界が夢中になる農産品のブランディング」！
パネルディスカッション、ワークショップでは、武雄市の農業とＩＣＴについて、生産者・販売、行政など様々な角度から明日の農業について考えます。

今までにないアイデアが生まれるかも！？

当日の飛び込み参加も可能です！

○場所：武雄市文化会館ミーティングホール
○日時：11/2　13:00～15:30

○お問合せ
武雄市つながる部企画課
TEL:(0954)23-9325
kikaku@city.takeo.lg.jp



・市ホームページでの広報（H25.11.1）

武雄市役所

【「たけお育ちパクチー」ついに武雄デビューです。】
【「たけお育ちパクチー」ついに武雄デビューです。】

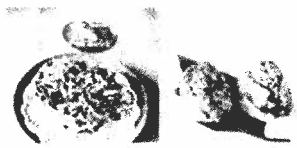
農業を通して、私たちのふるさと「武雄」をもっと元気にしたい！そんな思いからはじまったパクチー栽培。農家のみなさんが大切に育てた「たけお育ちパクチー」がようやく
収穫の時期をむかえ、この度物産まつりでデビューとなります！

物産まつり期間中の11月2日～4日（@武雄市文化会館大ホール前）の3日間若手農業者会「武友会」のブースで新鮮野菜とともに販売しますので、弁当「たけお育ちパクチー」を味わっていただきたいと思います。天ぷらの試食も行いますよ！

また、物産まつりの初日（11月2日）、武雄市文化会館ミーティングホールにて、
「ＩＣＴ活用で武雄の農業が変わる！」シンポジウムが開催されます。

特別講演のテーマは「世界が夢中になる農産品のブランディング」ということで
ヒミ＊オカジマ氏による講演も予定されています。パクチーの話もでてくるかも！？
こちらもあわせてご来場ください！

○場所：武雄市文化会館ミーティングホール
○日時：11月2日（土）　13:00～15:30



（ウ）事業に係る記事紹介

・「ICT街づくり推進事業」委託先選定記事（佐賀新聞 H25.6.12掲載）

ICT活用の街づくり事業

唐津・武雄市に委託

総務省九州総合通信局

総務省九州総合通信局は11日、最先端のICT（情報通信技術）を活用した新たな街づくりを実証する「ICT街づくり推進事業」の委託先として九州から唐津市、武雄市など3件を選んだと発表した。唐津市は防災・減災、武雄市は農業活性化システムを構築する。

全国から75件の応募があり、21件が選ばれた。委託額は1件に付き最大1億5千万円。今月中をめどに契約し、本年度末に成果を報告する。事業は昨年度から始まり、委託先として県内の自治体が選ばれたのは初めて。

唐津市は市民や観光客の投稿写真をモバイル機器で表示する地図サービスを提供、災害時には防災地図として活用する。気象センサーも設置して異常気象を監視し、メールで迅速に情報を伝達する。九州大学やICT関連会社など4団体と共同で事業を行う。

武雄市は、慶応大学やNTTの関連会社など4団体と協力。トマトやキュウリなどのハウスにセンサーを設置して温度などを管理し、インターネット上でデータを共有する。ネット通販「FB良品」とも連携して、ICTで農産物の生産から販売までを効率化する。

（江島貴之）

2013 6/12 佐賀

・ シンポジウム開催記事（佐賀新聞 H25.11.4掲載）

17 地域の話題 2013年（平成25年）11月4日（月曜

ICTで栽培技術継承

農業活性化探りシンポ

武雄市

ICTを活用した武雄の農業の可能性について討議するパネリスト＝武雄市文化会館

ICT（情報通信技術）を活用した武雄の農業活性化策を探るシンポジウムが2日、武雄市文化会館で約150人が参加してあった。

同市は11月から総務省の補助金を活用してICTを使った農業の実証実験を始めた。ICTで農業がどう変わるのか、シンポを通じて意見を交わした。

米ニューヨークで豚足を使った美肌促進料理の専門店を展開しているオーナー、ヒミ＊オカジマ氏が、言葉を使ってブランドを戦略的に高める方策について講演し、同氏や市内農家、IT会社社長、農業関連コンサルタントなど6人がパネル討議した。

今回の実証実験で、ハウス内の照度や温度、湿度、炭酸ガス濃度を農家が家にいてスマートフォンやパソコンで見られるようになり、「データの共有で栽培が上手な人の作り方が学べ、営農指導にも役立つ」との紹介があった。それを受けて「ICTの活用でノウハウの継承ができ、品質向上につながれば、若い人も就農しやすくなる」「モノが出来上がるまでの過程をどうアピールするかが重要。武雄市外に発信すれば海外にも注目される」とITの可能性に期待する発言があった。（横能章）

佐賀

・「ICT街づくり推進事業」実証内容紹介記事（佐賀新聞 H26.3.18掲載）

佐賀新聞

スマホでハウス管理

武雄市、農業にICT

スマートフォンを見ながらキュウリのハウス内に設置した環境制御板を操作する農家＝武雄市朝日町黒尾

武雄市は、最先端のICT（情報通信技術）を活用した農業活性化の検証事業に取り組んでいる。ハウスに設置したセンサーで外出中も環境データをスマートフォン（スマホ）で確認でき、省力化につながっている。データを共有できれば、営農指導に役立つ。農作業中の事故に備え、救急と連携するなど、医療面での安全・安心にもつながっている。

総務省の委託事業として、昨年11月から農業用機器メーカーなど4団体・企業と協力して始めた。

営農面では、キュウリやイチゴなど施設園芸農家13戸を対象に実施。ハウスの温度や湿度、照度、炭酸ガスを外出中でもスマホで確認でき、ハウスに戻らなくていいようになった。作業効率が上がるほか、省力化で栽培面積の拡大も期待できる。

今後は、スマホでハウスの窓やカーテンを遠隔操作できるようにする。環境データを蓄積して分析し、適切な栽培技術の共有化を目指す。営農指導に役立てれば新規参入者でも失敗のリスクが減る。

医療面では自宅やハウスにバイタル測定器を設置し、血圧や体温などを定期的に測り、自己管理に活用。データは市の保健師がパソコンで確認でき、保健指導もしている。また、緊急時は警備会社を通じて救急につながるシステムを構築している。

検証実験に参加しているキュウリ農家の山口弘義さん（54）は「スマホでデータを確認でき、ハウスに行く頻度が半分に減った。医療面を含め、安心度が上がった」と評価する。

国の委託事業は本年度で終わるが、市は独自に予算を付け、継続して検証を進める。市農林課は「ICTを活用して栽培技術を底上げし、農業所得の向上や新規就農者の確保につなげたい」と意気込んでいる。（横尾章）

2014 3/18

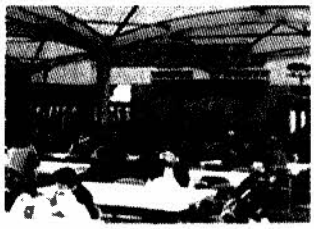
・シンポジウム「ICTで武雄の農業が変わる！」紹介（ネットアイビーニュース H25.11.7）

NETIBNEWS

アマゾンのクラウドは、 始められ
つきです。

ICTで農業を変える 武雄市で実証実験がスタート

11月2日から4日まで佐賀県武雄市内にて「第8回武雄の物産まつり」が開催された。武雄市文化会館の駐車場には農産の農産物や加工品などを販売するテントが立ちならび、特設ステージではコンサートやのど自慢大会、踊りが披露された。会場には市民のほか、県外からの来場者も多く賑わっていた。



武雄市産 [illegible]

21日、同祭開催イベントとして「ICTで武雄の農業が変わる！」というテーマでシンポジウムが行なわれた。ICTとは「Information and Communication Technology」のこと。スマートフォンやPadなどの情報通信機器を農業に活用し、農業の活性化を図る狙い。

武雄市は6月、農業分野のICTを活用した新たな街づくりを実証する「ICT街づくり推進事業」の委託先として選ばれていた。11月より武雄市で事業がスタートし、ICT活用で農業がどのように変わるのか、実証実験が始まっている。

ICTの導入例として、ビニールハウス内の温度や湿度の自動管理、遠隔操作によるハウス内への炭酸ガス注入などが紹介された。「現場まで行ってみないとわからない、できない」ことを極力減らして、作業効率を上げることが可能になる。さらに、高齢者の多い農業に対して、農作業中の転倒、事故などを検知し、ハウス内から通報するシステムも紹介された。ICTの導入により、農業が変わっていくのが、注目される。

シンポジウムでは、ICT先進農家を招き、パネルディスカッションやワークショップが行なわれ、ICTの可能性について意見交換された。

【[illegible]】

▼[illegible]

NET-IB NEWS
福岡ですっと施工管理の
そんな夢を叶えられる
1級・2級
建築施工管理技士
急募！
miraizu
株式会社
LB
日刊スポーツ
九州エリアの
旭工業店
飲食店会プラン
結婚式場、会場

様式８

武 市 農 第 ５５１号
平成２６年１月１６日

支出負担行為担当官
総務省大臣官房会計課企画官　殿

佐賀県武雄市武雄町大字昭和１番地１
武雄市
市長　樋　渡　啓　祐

実績報告書

平成２５年８月３０日付け平成２５年度{契約番号０１５５－０２２２}「平成２４年度補正予算ＩＣＴ街づくり推進事業」委託契約に基づく委託業務の実績について、契約書第１８条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１　契約締結日及び委託額
平成２５年８月３０日
金　５３４，８００円（消費税及び地方消費税を含む）

２　実施した実証事業の概要
各種会合への参加・個別訪問による参加農家の発掘
他提案団体と参加農家の仲介・調整、事業実施に係る説明会の開催
シンポジウムの開催

３　実証事業に要した経費
１）支出総額総括表

（単位：円）

項　目	委託額	流用額	流用後額	支出実績額	受けるべき委託金の額
Ⅰ　物品費					
Ⅱ　人件費・謝金					
Ⅲ　旅費					
Ⅳ　その他					
小計：直接経費（Ⅰ～Ⅳの総額）		－			
Ⅴ　一般管理費		－	－		
Ⅵ　総　額（Ⅰ～Ⅴの和）		－			

受けるべき委託金の額の一般管理費分は、受けるべき委託金の額の直接経費の値に一般管理費率を乗じたものとする。

２）支出内訳
様式８別紙のとおり

様式８ 別紙

平成24年度補正予算ＩＣＴ街づくり推進事業{契約番号0155-0222}
（実証事業名）オープンデータシティ武雄の見える化とエコシステムによる農業活性化
（実証機関名）武雄市
実証資金使用状況報告書

項　　目	積算内容	金額［円］
Ⅰ．物品費		
1．設備備品費		
2．消耗品費		
Ⅱ．人件費・謝金		
1．実証担当者費		
2．実証補助者費		
3．謝金		
Ⅲ．旅費		
1．旅費		
Ⅳ．その他		
1．外注費		
2．印刷製本費		
3．会議費		
4．通信運搬費		
5．光熱水料		
6．その他（諸経費）		
7．消費税相当額		
直接経費	Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ	0

（壱円未満は端数切捨）

Ⅴ．一般管理費	（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）×（一般管理費率　**.*%）	0

Ⅵ．総　額	Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ＋Ⅴ	0

（注１）実証担当者の時間単価は、原則として総務省が別に定める人件費標準単価表を用いること。
人件費標準単価表を用いない場合及び実証補助者の時間単価については、時間単価の根拠となる資料を添付すること。
（注２）一般管理費率は、契約書に基づく比率を記入すること。

様式８

武 市 農 第 ６５０号
平成２６年３月１０日

支出負担行為担当官
総務省大臣官房会計課企画官　殿

佐賀県武雄市武雄町大字昭和１番地１
武雄市
市長　樋　渡　啓　祐

実績報告書

平成２５年８月３０日付け平成２５年度{契約番号０１５５－０２２２}「平成２４年度補正予算ＩＣＴ街づくり推進事業」委託契約に基づく委託業務の実績について、契約書第１８条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１　契約締結日及び委託額
平成２５年８月３０日
金　５３４，８００円（消費税及び地方消費税を含む）

２　実施した実証事業の概要
各種会合への参加・個別訪問による参加農家の発掘
他提案団体と参加農家の仲介・調整、事業実施に係る説明会の開催
シンポジウムの開催

３　実証事業に要した経費
１）支出総額総括表

（単位：円）

項　目	委託額	流用額	流用後額	支出実績額	受けるべき委託金の額
Ⅰ　物品費	0			0	0
Ⅱ　人件費・謝金	90,000			0	0
Ⅲ　旅費	244,800			0	0
Ⅳ　その他	200,000			0	0
小計：直接経費（Ⅰ～Ⅳの総額）	534,800	－		0	0
Ⅴ　一般管理費	0	－	－	0	0
Ⅵ　総　額（Ⅰ～Ⅴの和）	534,800	－		0	0

受けるべき委託金の額の一般管理費分は、受けるべき委託金の額の直接経費の値に一般管理費率を乗じたものとする。

２）支出内訳
様式８別紙のとおり

様式８ 別紙

平成24年度補正予算ＩＣＴ街づくり推進事業［契約番号0155-0222］
（実証事業名）オープンデータシティ武雄の見える化とエコシステムによる農業活性化
（実証機関名）武雄市
実証資金使用状況報告書

項　　目	積算内容	金額［円］
Ⅰ．物品費		0
１．設備備品費		
２．消耗品費		
Ⅱ．人件費・謝金		0
１．実証担当者費		
２．実証補助者費		
３．謝金		
Ⅲ．旅費		0
１．旅費		
Ⅳ．その他		0
１．外注費		
２．印刷製本費		
３．会議費		
４．通信運搬費		
５．光熱水料		
６．その他（諸経費）		
７．消費税相当額		
直接経費	Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ	0

（壱円未満は端数切捨）

Ⅴ．一般管理費	（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）×（一般管理費率　0%）	0

Ⅵ．総　額	Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ＋Ⅴ	0

（注１）実証担当者の時間単価は、原則として総務省が別に定める人件費標準単価表を用いること。
人件費標準単価表を用いない場合及び実証補助者の時間単価については、時間単価の根拠となる資料を添付すること。
（注２）一般管理費率は、契約書に基づく比率を記入すること。